

おおぞら保育園・おおぞら夜間保育園における 自己点検・自己評価結果 (2020年度)

保育所保育指針において、保育士及び保育園の自己評価並びにその公表が努力義務と位置付けられました保育の質の向上を図るために、保育園の自己評価を行いました。今後もより良い保育を提供できるように努力していきます。

尚、評価はA,B,Cの3段階評価とします。 A:できている B:ほぼできている C:努力が必要

項目	内 容		評価
人権尊重	1	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A
	2	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A
説明責任	1	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A
	2	保護者が意見を述べやすい体制が確保されている。	A
情報保護	1	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている	A
	2	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している。	A
苦情処理	1	保護者が相談や意見をのべやすい環境を整備し、迅速に対応している	A
	2	苦情解決の仕組みが確立され、周知・機能している	A
保育内容	1	保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定している。	A
	2	保育目標は全員で検討し、かつ共通理解を図っている。	A
	3	保育所保育指針に基づく援助を適切に行っている	A

要保護児への対応	1	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届くようになっている。	A
	2	虐待を受けている子どもについて、各機関と連携しながら見守ることができる関係を作り、情報交流をする。	A
特別支援児への対応	1	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	A
保育環境	1	園内外が清潔で心地よい空間となっている	A
	2	年齢に応じた保育が提供できるようになっている。	A
	3	子どもが落ち着いてすごせるように、保育室の雰囲気、おもちゃが工夫されている。	A
保護者 支援	1	意見や要望などへの対応ができています	A
	2	職員が子育て等、話しやすい雰囲気や態度で接している。	A
安全対策・健康管理	1	毎朝、職員が園庭・園舎内の安全を安全点検表をチェックしながら点検を行い確認している。	A
	2	保育中の体調への気配りやケガ等に対して配慮している。	A
	3	感染症の発生状況や注意事項などを知らせている。	A
	4	子どもの成長を把握している	A
	5	不審者対策をおこなっている	A
	6	発生した事故を把握している	A
	7	事故補償（賠償）を行うための方策を講じている	A

給食	1	給食が楽しく食べられるように工夫している	A
	2	食育を通して子どもたちが食に興味をもてるように工夫している	A
	3	食物アレルギーは医師の指示書に基づいて個別に配慮している	A
	4	衛生管理を徹底している。	A
職員育成	1	職員の質の向上に努めている	A
	2	職員が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている	A
組織の運営管理	1	能率的・合理的な運営組織になっている。	A
	2	職務内容が明確で、協働できる体制になっている。	A
	3	各種会議を適切且つ効率的に進めている	A
	4	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A
地域との交流	1	地域との関係が適切に確保されている	A
	2	地域に開かれた保育施設として、園庭や園舎等を開放している。	B
	3	地域の親子と一緒に遊ぶ場の設定を行っている。	B
	4	職員による育児相談を行っている。	A
	5	医療機関や、保健センターなど専門機関との連携を図り必要な情報提供をしている	A
	6	ボランティアや中学校の職場体験などを積極的に受け入れている。	B

園全体の評価

開園19年目にあたる今年度は、昨年度の教訓を活かして安全に保育を進めていく事ができるように配慮してきました。ヒヤリハットについても職員会議で共有し、事故につながらないように努力してきました。新型コロナウイルスの流行により、今までとは様変わりした保育現場ですが、その中でも友だちと一緒に育つ楽しさを感じられたり、保護者に保育内容を知ってもらう努力を行ってきました。現状の中で安全に気を付けながらも、できることを模索して努力してきました。コロナの影響で園外研修を控えているが、その分園内研修も定期開催し職員の研鑽にも努力してきました。学んだことを保育に活かし子どもたちに返すことができました。

今後の課題

今年度はコロナ禍の中の保育を模索しながら行ってきたが、今までの経験を活かし、子どもたちや職員の安全を守りながら子どもたちの発達を保障できる保育を進めていきたい。通常の保育だけではなく、消毒作業などの様々な配慮が必要で緊張の高い中保育をしている職員のケアもしていく。またコロナ禍で地域活動がなかなかできなかったのが、ワクチンや特効薬ができコロナが解消する場合、一時保育も含めて地域活動を積極的に行いたい。また来年度の行事計画については取り組み方の見直しが必要だと思われるので、職員と討議していきたい。